

(別添2-10)

通信学習実施計画書

1 講義を通信の方法によって行う地域

- ・大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都府、滋賀県の全地域とする。

2 添削指導の方法

- ・自宅学習期間の質問方法

質問は、メール・FAXによるものとする。

添削担当講師：専任講師 星野 大輔、別添カリキュラム参照

ファックス番号 06-6354-7804

メールアドレス senior-mdsv@emerald.bforth.com

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5時間	5時間
(3) 介護の基本	3時間	3時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	7.5時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3時間
(6) 老化の理解	3時間	3時間
(7) 認知症の理解	3時間	3時間
(8) 障がいの理解	1.5時間	1.5時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12時間	12時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

- ・添削課題は、2回に分けて配布する。

なお、第1回目は開校式・オリエンテーション日に受講生に添削課題を配布する。第2回目は、研修開始後10日以後の通学時に学習課題を配布する。

第1回、第2回の課題配布後、10日以上経過した通学時に提出日を設ける。

5 通信学習課題

① 課題種類数 1種類

② 出題形式

第1回課題 選択式 65問 ○×式 7問 全72問

第2回課題 選択式 40問 全40問

③ 出題数(大問)

「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」 11問

③ 出題数（大問）

「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」	11問
「(3) 介護の基本」	11問
「(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携」	16問
「(5) 介護におけるコミュニケーション技術」	11問
「(6) 老化の理解」	9問
「(7) 認知症の理解」	6問
「(8) 障がいの理解」	8問
「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」	40問

6 評価基準

各科目の問題の60点以上を合格とする。

60点に満たない場合は、再評価を実施するため、別途添削課題を配布する。

なお、再課題は同じ課題を使用する。

再提出は、配布後14日以内とする。

7 通信添削業務受託事業者

(1) 自社で実施する。